



2025 年 9 月 29 日

「午年馬図記念コイン」 予約販売のお知らせ

筑波銀行（頭取 生田 雅彦）は、「午年馬図記念コイン」の予約販売を 10 月 6 日（月）より開始しますのお知らせいたします。

このコインは、2010 年以來 16 年目となるシリーズで、英国王立造幣局、フランス国立造幣局、オーストラリア・パース造幣局、カナダ王室造幣局、シンガポール造幣局が鑄造し、英国、フランス、オーストラリア、カナダ、ブータンの 5 か国から発行されるもので、以下のとおり予約販売を開始いたします。

記

1. 販売概要

	種類	販売価格	数量
A	500 ユーロ金貨<フランス>	6,600,000 円	限定 50 枚
B	500 ポンド金貨<イギリス>	6,380,000 円	限定 50 枚
C	100 ポンド金貨<イギリス>	1,210,000 円	限定 250 枚
D	100 豪ドル金貨<オーストラリア>	1,100,000 円	限定 80 枚
E	100 カナダドル金貨<カナダ>	605,000 円	限定 200 枚
F	50 ユーロ金貨<フランス>	297,000 円	限定 300 枚
G	1000 ニュルタムカラー金貨<ブータン>	297,000 円	限定 150 枚
H	25 豪ドル金貨<オーストラリア>	297,000 円	限定 200 枚
I	30 豪ドルカラー銀貨<オーストラリア>	396,000 円	限定 120 枚
J	銀貨 5 種セット	121,000 円	限定 700 セット

※いずれも税込価格です。

※各商品すべてに特製ケースと発行証明書を付けてお渡しいたします。

2. 予約販売受付期間

2025 年 10 月 6 日（月）～10 月 24 日（金）

※数量限定のため、受付期間中であっても販売予約数量に達した場合は、販売を締め切らせていただきます。

3. お引渡し予定日

2025 年 12 月 9 日（火）以降

4. 販売窓口

当行全営業店（つくばのGammaぐち支店（インターネット専業支店）は除きます。）

以上

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部広報室
TEL 029-859-8111

商品の一覧

A.500ユーロ金貨〈フランス〉

6,600,000円(税込) 限定50枚



B.500ポンド金貨〈英国〉

6,380,000円(税込) 限定50枚



C.100ポンド金貨〈英国〉

1,210,000円(税込) 限定250枚



D.100豪ドル金貨〈オーストラリア〉

1,100,000円(税込) 限定80枚



H.25豪ドル金貨〈オーストラリア〉

297,000円(税込) 限定200枚



E.100カナダドル金貨〈カナダ〉

605,000円(税込) 限定200枚



F.50ユーロ金貨〈フランス〉

297,000円(税込) 限定300枚



G.1000ニルタムカラー金貨〈ブータン〉

297,000円(税込) 限定150枚



I.30豪ドルカラー銀貨

396,000円(税込)

限定120枚



J.銀貨5種セット

121,000円(税込) 限定700セット

- ①2ポンド銀貨〈英国〉
- ②15カナダドル銀貨〈カナダ〉
- ③10ユーロ銀貨〈フランス〉
- ④500ニルタムカラー銀貨〈ブータン〉
- ⑤1豪ドルカラー銀貨〈オーストラリア〉



デザインと解説

■英国 (500ポンド金貨、100ポンド金貨、2ポンド銀貨)



表面: 英国王チャールズ3世の肖像が描かれています。肖像は彫刻家マーティン・ジェニングス氏がデザインし、国王自らによって承認されました。周囲には額面、発行年、「CHARLES III · D · G · REX · F · D」(神の恩寵による王、信仰の守護者の略)と刻まれています。

裏面: 英国を代表する品種であるサラブレッドが、後ろ足で立つ様子を大きくデザイン。その強靱な脚力や運動能力を感じさせる前脚の筋肉や美しいたてがみ、表情などが巧みな彫刻で表現されています。背景には18世紀初頭の伝統的な馬小屋と石畳、上部に「馬」、「YEAR OF THE HORSE 2026」と刻まれています。

■フランス (500ユーロ金貨、50ユーロ金貨、10ユーロ銀貨)



表面: 力強く駆ける馬がリングから勢いよく飛び出してくる大胆な構図。リングには十二支の動物や植物などのモチーフが緻密に描かれています。「馬」や「ANNÉE DU CHEVAL」(午年)の文字も刻まれています。**500ユーロ金貨**は、馬やリングの部分鏡面、背景をフロスト状の艶消しで仕上げた「リバースブルーフ」加工を採用。

裏面: 中国の伝統的な寺院の扉が右上に円形で描かれ、それを扇状に取り囲むように十二支の動物たちが精緻な彫刻技術でランダムかつ重層的に描かれています。周りには年号(2018年~2029年)、額面、フランス語で「中国暦」と刻まれています。

■カナダ (100カナダドル金貨、15カナダドル銀貨)



表面: カナダのアーティスト、スティーブン・ロザティ氏が手がけた国王チャールズ3世の肖像が描かれています。周囲には額面、「CHARLES III · D · G · REX」(神の恩寵による王、信仰の守護者の略)と刻まれています。

裏面: (金貨)幸運をもたらすジャスミンの花模様で飾られた馬が描かれています。炎のようなたてがみや尻尾、背景の太陽と燃えるような草は、2026年の「火の要素」(丙午)を表現しています。(銀貨)ヒマワリやジャスミンの花のモチーフを馬の体や周囲にデザイン。たてがみや尻尾などは、2026年の「火の要素」を象徴する炎のように表現されています。

■オーストラリア（100豪ドル金貨、25豪ドル金貨、30豪ドルカラー銀貨、1豪ドルカラー銀貨）



表面：英国王立造幣局のデザイナー、ダン・ソーン氏が手がけた国王チャールズ3世の肖像を刻印。周囲には発行国や年のほか、重量や額面、品位なども刻まれています。

裏面：（金貨）前脚を高くあげた躍動的な馬の姿を大きくデザイン。背景には雄大な山々と草原が描かれ、力強さと壮麗な美しさを感じさせます。漢字の「馬」や「HORSE 2026」も刻印されています。（銀貨）カラーで活き活きと描かれた馬の親子が、そびえ立つ山々と草原の穏やかな風景の中を躍動的に駆け巡る姿が印象的です。上部には漢字の「馬」や「HORSE 2026」も刻印。

■ブータン（1000ニュルタムカラー金貨、500ニュルタムカラー銀貨）



表面：中央には渦巻くそよ風と雲をまとった馬がブータンの山々を優雅に駆け巡る姿が描かれ、ブータン文化における繁栄の象徴とされる「ルンタ」（風の馬）を表しています。周りには「YEAR OF THE HORSE」、額面などが刻まれています。

裏面：「優れた馬」を意味するタチヨガン・ラカン寺院が描かれています。伝説では、15世紀に精神的指導者であったタンソン・ギャルボが瞑想中に観音菩薩の化身である聖なる馬のビジョンの触発を受け、同寺院を建立したとされています。

干支記念コインシリーズについて

日本人に馴染みの深い「干支」をテーマに、2010年の「卯年」から毎年発行されているシリーズです。初年度はオーストラリア1カ国が発行する4種類でしたが、近年では5つの造幣局によるバラエティ豊富なラインアップに増加。5オンス金貨をはじめとする希少価値の高い大型サイズのコインも近年注目を集めています。また干支がテーマになっていることから、コレクターをはじめ家族、友人などのライフイベントにちなんだ記念品や贈答品としても人気の企画となっています。



造幣局について

■英国王立造幣局（ロイヤル・ミント）

英国王立造幣局(The Royal Mint)は、ロンドンに複数あった小さな貨幣工場の一つとして886年に設立。その後1279年にロンドン塔内に造幣局として集約され、以後500年、ここを拠点として英国の硬貨製造を一手に担うまでになります。この間、造幣局長をつとめたアイザック・ニュートンらの貢献によって偽造防止のための精密かつ高硬度の鑄造技術などが開発されました。生産拡張のため19世紀にはタワー・ヒルに、1970年代にはロンドンを離れ現在の拠点であるウェールズ・ラントリサントに移転します。現在では世界有数の造幣局として年間約50億枚のコインを鑄造しています。



■フランス国立造幣局（モネ・ド・パリ）

フランス国立造幣局(Monnaie de Paris)は、シャルル2世により864年に設立された世界最古の造幣局で、現在に至るまで稼働し続けている最古の企業でもあります。その歴史は、貨幣関係事業を統合したシャルルマーニュ大帝の時代の9世紀にさかのぼります。18世紀に建設されたパリの造幣局には、美術館が併設。高度な技術を有する職人による記念コインをはじめ、メダル、勲章などの製作を行っており、その芸術性や独創性、デザイン性は世界的にも高く評価されています。



■カナダ王室造幣局

カナダ王室造幣局(The Royal Canadian Mint)は、1908年に英国王立造幣局のオタワ支局として設立され、カナダで流通する全ての貨幣の鑄造および管理を担う営利目的の公社です。ユーコンおよびニューコロンビア州におけるゴールドラッシュとともに精錬所を設立するなど、1世紀の間に世界有数の生産量と品位を誇る流通貨幣や収集用コイン、地金などの製造業者に成長しました。2007年にはギネス世界記録(当時)に登録された重さ100kg、純度99.999%の世界最大の金貨を製造し注目を集めました。



■オーストラリア・パース造幣局

パース造幣局(The Perth Mint)は、英国王立造幣局の3番目の支局として1899年に設立され、オーストラリア最古の歴史を誇ります。西オーストラリアで発掘される金の精錬や英国政府の植民地に向けた金貨の鑄造を1931年の金本位体制の廃止まで担い、その後1970年に西オーストラリア州政府の所有となりました。同国最大の貴金属企業でもあり、とりわけ金や銀の地金、希少価値の高い収集用コインなどにおいて高い実績を有します。その輸出規模は価値にして年間約180億ドル、100カ国以上にのびます。



■シンガポール造幣局

シンガポール造幣局(The Singapore Mint)は、同国独立後の貨幣流通を担うため1968年に設立。1970年代以降はブータンやマカオといった海外の硬貨鑄造の委託も受けており、1980年代に政府関連企業となりました。造幣局としては世界的にも数少ない熟練した職人チームを擁しており、手作業ならではの繊細な表現とともに、2000年代以降はホログラム、潜像加工、ウルトラハイレーフ仕上げなどさまざまな革新的技術を融合したユニークなコインを鑄造し、国際的な賞も数多く受賞しています。

